



# キク編



## 病害虫注意報 2021年9月号

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

### チョウ目害虫、ハダニ類の発生が多くなります！

高温期ではありますが気温が徐々に下がってくるにつれ、チョウ目害虫、ハダニ類の発生が多くなります。発見が遅れ、チョウ目害虫は老齢幼虫になると薬剤の防除効果が低下するため注意しましょう。また、アザミウマ類や病害の発生も同様に多くなります。予防的なローテーション散布を心がけましょう。

## 今月のおすすすめローテーション



地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合がありますため

ご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

※:花き類・観葉植物登録

時期	対象病害虫	薬剤名	使用量・希釈倍数	使用時期	回数
定植時	白さび病	inochioキクツチャ粒剤	6~9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	白さび病 <b>予</b>	ジマンダイセンフロアブル	500~800倍	-	8回
	アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochio セイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
消灯時	アザミウマ類 オオタバコガ※ ハモグリバエ類※ ヨトウムシ類※	アフーム乳剤	1,000~2,000倍 (※:1,000倍)	発生初期	5回
	ナミハダニ	マイトコーネフロアブル	1,000倍	開花前	1回
発蕾時	白さび病 <b>予・治</b>	inochioオペラフラワー乳剤	2,000倍	発病初期	3回
	アザミウマ類・ハダニ類 ハスモンヨトウ・オオタバコガ	グレーシア乳剤	2,000倍	発生初期	2回
破蕾時	ハダニ類	ダニコングフロアブル※	2,000倍	発生初期	1回
	イロカサギンウバ・コナジラミ類 アザミウマ類・ハモグリバエ類 オオタバコガ カバネノバエ類	ディアナSC※	2,500~5,000倍 (コナジラミ類 カバネノバエ類:2,500倍)	発生初期	2回

白さび病の出やすい圃場は殺菌剤を定期的に散布することをおすすめします！

### おすすめ資材

酸欠を防ぎ根の動きを促す！

## NEW-SB酸素

初期の活着時や高温期に  
灌水処理がお勧め

10kg/10a

7~14日おき灌水処理



弱った株の回復に！

## カテキンパワー

1,000倍 葉面散布

※ストレプトマイシン剤、キチン、キトサン類、カルシウム剤（ファイトカルを除く）、微量要素剤、鉄など金属を含む葉面散布肥料との混用は避ける。井戸水で、鉄分などを多く含む水での使用も避ける。生第91402号



肥料登録  
生第91402号

灌注処理にプラス1！

## ファイトオーツ

1,000倍 灌注処理

同時灌注で効果アップ

- ▶ 活着改善
- ▶ 毛細根の充実
- ▶ 徒長防止



肥料登録  
生第83241号